

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
	ホテル・ウェディング科	夜・通信	1500	160	
	葬祭ディレクター科	夜・通信	1500	160	
	ホテル・ツーリズム大学科 (2025年度より国際ホテル大学併修・留学科より変更)	夜・通信	3000	320	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.wish-web.com/openinfo.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.wish-web.com/openinfo.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2025年6月 10日～2027 年度定時評 議員会終結 の時	政策的観点
非常勤	団体職員	2025年6月 10日～2027 年度定時評 議員会終結 の時	教育統括的視点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 作成過程は以下のとおり</p> <p>① 9月に教務部長が次年度の指導方針を決定。 ② 12月に各学科担当主導のもと外部講師との会議を開き振り返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。 教務部長が年間スケジュール決定。 ③ 1月、学科担当が次年度科目を作成し、教務部長が決定。部門長が承認をする。 ④ 2月、学科担当が時間割・シラバスを作成、教務部長が決定。 ⑤ 3月、外部講師に対して、正式依頼をし、情報共有をする。 4月、在校生及びHP公開。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.wish-web.com/openinfo.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。 a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等の資料を元に行う。 b、算出方法は以下のとおり ①A B C D Fの5段階とする。 ②各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。 c、評価基準は以下のとおり A：秀(100～80) B：優(79～70) C：良(69～60) D：可(追試験・認定試験合格) F：不可(59～0) →追試験</p> <p>考査基準： 各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が80%以上でない者および通常提出課題が100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。(F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる)</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の設定には、「A評価」から「F評価」に、それぞれ所定のポイントを掛けた合計点を総科目数で割りスコアを算出し、そのスコアをもって成績分布を算出する。</p> $(A評価 \times 6 P \times 科目数) + (B評価 \times 4 P \times 科目数) + (C評価 \times 2 P \times 科目数) + (D評価 \times 0 P \times 科目数) \times (F評価 \times -2 P \times 科目数) \div 総科目数 = スコア$ <p>前期末・後期末の各科成績表に基づいて成績分布図を作成し、下位4分の1の学生については警告を与える。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.wish-web.com/openinfo.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業までに以下の力を身につける</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ホスピタリティの概念 2、国際人としての感覚・社会常識、マナー・プロトコール 3、「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力 4、業界人で即戦力となるための専門知識・技術 <p>卒業基準は以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> a、出席率が各科目年間授業数の80%以上になること b、科目の評価全て「D」以上であること c、課外活動、行事参加を7回以上行うこと d、該当年次の学費および諸費用を完納すること <p>こちらを学生の手引きに定め、公表実施している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.wish-web.com/openinfo.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wish-web.com/openinfo.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.wish-web.com/openinfo.html
財産目録	https://www.wish-web.com/openinfo.html
事業報告書	https://www.wish-web.com/openinfo.html
監事による監査報告（書）	https://www.wish-web.com/openinfo.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ホテル・ウエディング 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	単位時間 897/単位	単位時間 0/単位	単位時間 813/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1710 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		152人	0人	8人	39人	47人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）専門基礎科目、専門必修科目、専門選択科目に分かれており、実践的な科目を開設し、講義、実習、演習を組み合わせた教育を展開している。 毎年、年度末に各科目を考査し、次年度の年間授業計画を作成する。</p> <p>作成過程は以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 9月に教務部長が次年度の指導方針を決定。 ② 12月に各学科担当主導のもと外部講師との会議を開き振り返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。 教務部長が年間スケジュール決定。 ③ 1月、学科担当が次年度科目を作成し、教務部長が決定。部門長が承認をする。 ④ 2月、学科担当が時間割・シラバスを作成、教務部長が決定。 ⑤ 3月、外部講師に対して、正式依頼をし、情報共有をする。 ⑥ 4月、在校生及びHP公開

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>定期試験結果、出席率を中心に、課題提出や学習意欲などで総合的に成績評価を行う。成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。</p> <p>a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等の資料を元に行う。</p> <p>b、算出方法は以下のとおり</p> <p>①A B C D Fの5段階とする。</p> <p>②各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。</p> <p>c、評価基準は以下のとおり</p> <p>A：秀 (100～80) B：優 (79～70) C：良 (69～60)</p> <p>D：可 (追試験・認定試験合格) F：不可 (59～0) →追試験</p> <p>考査基準：</p> <p>各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が80%以上でない者および通常提出課題が100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかんに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。(F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる)</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業までに以下の力を身につける</p> <p>1、ホスピタリティの概念</p> <p>2、国際人としての感覚・社会常識、マナー・プロトコール</p> <p>3、「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力</p> <p>4、業界人で即戦力となるための専門知識・技術</p> <p>卒業基準は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率が各科目年間授業数の80%になること。 ・科目の評価全て「D」以上であること。 ・課外活動、行事に7回参加すること。 ・該当年次の学費および諸費用を完納すること。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>欠席の多い学生に関しては、放課後に補講を行う。また学習未達の学生に関しても、特別講義を行い、支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
88人 (100%)	1人 (1.1%)	84人 (95.5%)	3人 (3.4%)
(主な就職、業界等)			
ホテル・レストラン・ウディング業界			

(就職指導内容) 1年次、就職試験対策として、授業、研修、面接練習をしている。
(主な学修成果(資格・検定等)) レストランサービス技能検定合格率 78.4%、 ブライダルコーディネーター技能検定合格率 68.5% (2024年度実績)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
2024年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
166人	2人	1.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学習意欲低下、精神面		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、スクールカウンセラー、個別面談		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	葬祭ディレクター科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	昼		講義	演習	実習	実験
2年		1700 単位時間/単位	単位時間 1210/単位	単位時間 505/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人		12人	0人	8人	39人	47人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門基礎科目、専門必修科目、専門選択科目に分かれており、実践的な科目を開設し、講義、実習、演習を組み合わせた教育を展開している。 毎年、年度末に各科目を考査し、次年度の年間授業計画を作成する。
作成過程は以下のとおり
① 9月に教務部長が次年度の指導方針を決定。
② 12月に各学科担当主導のもと外部講師との会議を開き振り返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。 教務部長が年間スケジュール決定。
③ 1月、学科担当が次年度科目を作成し、教務部長が決定。部門長が承認をする。

- ④ 2月、学科担当が時間割・シラバスを作成、教務部長が決定。
- ⑤ 3月、外部講師に対して、正式依頼をし、情報共有をする。
- ⑥ 4月、在校生及びHP公開

成績評価の基準・方法

(概要)

定期試験結果、出席率を中心に、課題提出や学習意欲などで総合的に成績評価を行う。成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。

a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等の資料を元に行う。

b、算出方法は以下のとおり

①A B C D Fの5段階とする。

②各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。

c、評価基準は以下のとおり

A：秀（100～80） B：優（79～70） C：良（69～60）

D：可（追試験・認定試験合格） F：不可（59～0）→追試験

考査基準：

各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が80%以上でない者および通常提出課題が100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかんに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。（F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる）

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業までに以下の力を身につける

1. ホスピタリティの概念
2. 国際人としての感覚・社会常識、マナー・プロトコール
3. 「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力
4. 業界人で即戦力となるための専門知識・技術

卒業基準は以下のとおり

- ・出席率が各科目年間授業数の80%になること。
- ・科目の評価全て「D」以上であること。
- ・課外活動、行事に7回参加すること。
- ・該当年次の学費および諸費用を完納すること。

学修支援等

(概要)

欠席の多い学生に関しては、放課後に補講を行う。また学習未達の学生に関しても、特別講義を行い、支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (83%)	1人 (1.7%)
（主な就職、業界等） 葬祭業界			
（就職指導内容） 1年次、就職試験対策として、授業、研修、面接練習をしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 葬祭ディレクター検定合格率100%（2024年度実績）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、スクールカウンセラー、個別面談		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ホテル・ツーリズム大学科 (2025年度入学より国際ホテル大学併修・留学科から変更)		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	2440 単位時間/単位	単位時間 2,184/単位	単位時間 0 単位	単位時間 1,486/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
			3,670 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

20人	5人	0人	8人	39人	47人
-----	----	----	----	-----	-----

<p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）</p> <p>（概要） 専門基礎科目、専門必修科目、専門選択科目に分かれており、実践的な科目を開設し、講義、実習、演習を組み合わせた教育を展開している。 毎年、年度末に各科目を考査し、次年度の年間授業計画を作成する。</p> <p>作成過程は以下のとおり</p> <p>① 9月に教務部長が次年度の指導方針を決定。 ② 12月に各学科担当主導のもと外部講師との会議を開き振り返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。 教務部長が年間スケジュール決定。 ③ 1月、学科担当が次年度科目を作成し、教務部長が決定。部門長が承認をする。 ④ 2月、学科担当が時間割・シラバスを作成、教務部長が決定。 ⑤ 3月、外部講師に対して、正式依頼をし、情報共有をする。 ⑥ 4月、在校生及びHP公開</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 定期試験結果、出席率を中心に、課題提出や学習意欲などで総合的に成績評価を行う。 成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。 a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等の資料を元に行う。 b、算出方法は以下のとおり ①A B C D Fの5段階とする。 ②各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。 c、評価基準は以下のとおり A：秀（100～80） B：優（79～70） C：良（69～60） D：可（追試験・認定試験合格） F：不可（59～0）→追試験</p> <p>考査基準： 各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が80%以上でない者および通常提出課題が100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかんに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。（F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる）</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業までに以下の力を身につける 1. ホスピタリティの概念 2. 国際人としての感覚・社会常識、マナー・プロトコール 3. 「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力 4. 業界人で即戦力となるための専門知識・技術</p> <p>卒業基準は以下のとおり ・出席率が各科目年間授業数の80%になること。 ・科目の評価全て「D」以上であること。 ・課外活動、行事に7回参加すること。</p>

・該当年次の学費および諸費用を完納すること。
学修支援等
(概要) 欠席の多い学生に関しては、放課後に補講を行う。また学習未達の学生に関しても、特別講義を行い、支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 2024年度卒 (国際ホテル大学併修 科)	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界			
(就職指導内容) 3年次、就職試験対策として、授業、研修、面接練習をしている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
2024年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、スクールカウンセラー、個別面談		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	葬祭セレモニー科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼	850 単位時間 ／単位	単位時間 715/単位	単位時間 0 単位	単位時間 135/単位	単位時間 0/単位
			850 単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人		3人	0人	8人	39人	47人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門基礎科目、専門必修科目、専門選択科目に分かれており、実践的な科目を開設し、講義、実習、演習を組み合わせた教育を展開している。</p> <p>毎年、年度末に各科目を考査し、次年度の年間授業計画を作成する。</p> <p>作成過程は以下のとおり</p> <p>⑦ 9月に教務部長が次年度の指導方針を決定。</p> <p>⑧ 12月に各学科担当主導のもと外部講師との会議を開き振り返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。</p> <p>教務部長が年間スケジュール決定。</p> <p>⑨ 1月、学科担当が次年度科目を作成し、教務部長が決定。部門長が承認をする。</p> <p>⑩ 2月、学科担当が時間割・シラバスを作成、教務部長が決定。</p> <p>⑪ 3月、外部講師に対して、正式依頼をし、情報共有をする。</p> <p>⑫ 4月、在校生及びHP公開</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>定期試験結果、出席率を中心に、課題提出や学習意欲などで総合的に成績評価を行う。</p> <p>成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。</p> <p>a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等の資料を元に行う。</p> <p>b、算出方法は以下のとおり</p> <p>① A B C D F の5段階とする。</p> <p>② 各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。</p> <p>c、評価基準は以下のとおり</p> <p>A：秀（100～80） B：優（79～70） C：良（69～60）</p> <p>D：可（追試験・認定試験合格） F：不可（59～0）→追試験</p>

<p> 考查基準： 各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が 80%以上でない者および通常提出課題が 100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。（F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる） </p>
<p> 卒業・進級の認定基準 （概要） 卒業までに以下の力を身につける 1. ホスピタリティの概念 4. 国際人としての感覚・社会常識、マナー・プロトコール 5. 「PLAN」、「DO」、「SEE」能力とマネジメント能力 4、業界人で即戦力となるための専門知識・技術 卒業基準は以下のとおり ・出席率が各科目年間授業数の 80%になること。 ・科目の評価全て「D」以上であること。 ・課外活動、行事に 7 回参加すること。 ・該当年次の学費および諸費用を完納すること。 </p>
<p> 学修支援等 （概要） 欠席の多い学生に関しては、放課後に補講を行う。また学習未達の学生に関しても、特別講義を行い、支援している。 </p>

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
<p> 卒業生数 2024 年度卒 （国際ホテル大学併修科） </p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 （自営業を含む。）</p>	<p>その他</p>
<p>0 人 (%)</p>	<p>0 人 (0%)</p>	<p>0 人 (%)</p>	<p>0 人 (0%)</p>
<p> （主な就職、業界等） 事務、サービス業界 </p>			
<p> （就職指導内容） 後期、就職試験対策として、面接練習をしている。 </p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、スクールカウンセラー、個別面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ホテル・ウェディング科	70,000 円	800,000 円	330,000 円	
葬祭ディレクター科	70,000 円	800,000 円	330,000 円	
葬祭セレモニー科	70,000 円	600,000 円	330,000 円	1年制
ホテル・ツーリズム大学科	70,000 円	800,000 円	330,000 円	国際ホテル大学併修・留学科 2025年度より名称変更
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wish-web.com/openinfo.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 12月) 自己評価報告書を事前に提出⇒後日会議にて学校関係者委員との会議実施⇒委員会での意見、評価結果は報告書としてまとめ、教職員にも開示。意見や改善策を提案させる等を行い、対応を検討後可能なものはすぐできるものは実施。時間のかかるものは、次年度の方針・カリキュラム作成の際に組み込んでいく。		
評価項目は以下のとおり 1、教育理念・目標 2、学校運営 3、教育活動 4、学修成果 5、学生支援 6、教育環境 7、学生の受入れ募集 8、財務 9、法令等の遵守 10、社会貢献・地域貢献		
学校関係者委員の定員は業界団体所属者から1名、ホテル・ブライダル企業から1名の合計2名とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ホテルイタリア軒 総支配人	2024年4月1日～2026年3月31日	企業
新潟日米協会 専務理事	2024年4月1日～2026年3月31日	業界団体
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wish-web.com/openinfo.html		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H115310000302
学校名 (〇〇大学 等)	国際ホテル・ブライダル専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 国際総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		21人 (-) 人	19人 (-) 人	40人 (-) 人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				40人 (-) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 <small>（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）</small>	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）	
年間	0人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。